



モグ太くん

「モグ太」です。  
今回は、幌延深地層研究センターの各部署をご紹介します。

幌延深地層研究センターでは、「戦略推進室」「総務・共生課」「保安・建設課」「堆積岩工学技術開発グループ」「堆積岩安全評価研究グループ」の5つの部署があります。

今回は、各部署では普段どのような仕事をしているのか、どんな人が働いているのかご紹介させていただきます。

## 戦略推進室



幌延国際共同プロジェクト（HIP）  
合同タスク会合の様子

**仕事の内容：**センター全体の事業計画、研究成果、経営資源、予算の取りまとめおよび調整や、幌延国際共同プロジェクト（HIP）の運営に加え、地下研究施設の整備事業の契約手続きなどを担当しています。

**仕事のやりがい：**取りまとめた成果が、将来の地層処分事業の計画や取り組みに的確に活かされ、より安全で持続的な事業の推進に寄与することにやりがいを感じています。

**どんな人が働いている？：**研究・技術系、事務系の計7名で幌延町内からの通勤者だけでなく、遠別町や豊富町から通勤している方もいます。

## 総務・共生課

**仕事の内容：**いわゆる“総務”“庶務”“労務”といった事務系の仕事や、地域共生、広報活動・イベントなどの業務を通じて、センターの円滑な事業推進、研究成果の創出を支援し、研究の内容を広くお伝えする部署です。

**仕事のやりがい：**センター従業員が安心して仕事に取り組める環境が保たれ、センターの事業活動や地域との共生・協働がスムーズに進んでいるようなことを見たり聞いたりすると励みになります。

**どんな人が働いている？：**幌延だけでなく札幌の事務所にも従業員がおり、また、請負作業員も含めると30名近い人数となります。それぞれの個性も幅広く、一見まとまりが無いように見えますが、団結して業務に励んでいます。



青少年のための科学の祭典  
釧路大会での広報活動の様子

## 保安・建設課

**仕事の内容：**保安と建設の2つの業務を担当しています。保安業務では、安全パトロールなどセンターの安全に関わる業務を行っています。建設業務では、地下研究施設の整備やセンターの施設の保守管理を担当しています。

**仕事のやりがい：**センターの“縁の下の力持ち”として、研究業務を支えていることにやりがいを感じています。

**どんな人が働いている？：**課員の出身地は、北は稚内から西は長崎まで様々、年齢層も20代から60代までの個性豊かな11名で構成され、みんなで力を合わせて業務に取り組んでいます。



完成検査の様子  
(500m調査坑道)

## 堆積岩工学技術開発グループ



坑道内での調査の様子

**仕事の内容：**将来の地層処分に適用可能な工学技術の開発に向けて、地下研究施設において人工バリアや坑道埋め戻しなどに関する調査・試験を実施しています。そして、得られた成果を、論文や報告書として取りまとめ、国内外の学会などで発信しています。

**仕事のやりがい：**社会に貢献できる課題に取り組んでいることに誇りと責任を感じます。また、国際共同研究で海外の研究者・技術者と議論し、多様な視点を取り入れながら、

解決策を具体化していける点もやりがいです。

**どんな人が働いている？：**地質や土木、地下水など、さまざまな専門分野の職員が集まっています。“研究者”はまじめで堅そうなイメージがあるかもしれませんが、休日は楽器演奏やスキー、野球、釣りなどの趣味を楽しみながら、幌延での暮らしを満喫しています。

## 堆積岩安全評価研究グループ

**仕事の内容：**地層処分の安全評価技術の研究として、岩盤内における地下水の流れや地下水に含まれる物質の移動の仕方に関する研究を主に行っています。現場でのデータ実測や数値シミュレーションを行い、観測と解析の両面からこれらの挙動に関する調査・試験を実施しています。

**仕事のやりがい：**予期せぬ事態や困難を克服し、貴重なデータの取得や解析に成功した瞬間には、大きなやりがいを感じます。

**どんな人が働いている？：**現場作業、実験・分析、数値解析など、各分野に強みを持つメンバーが集まっています。特に手先が器用なメンバーが多く、これら緻密な作業に加え、私生活では楽器演奏をたしなむなど、多才な個性が光るグループです。



幌延国際共同プロジェクトでの研究課題の一つである物質移行試験の様子



センター QRコード

問い合わせ先: 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
幌延深地層研究センター: 電話・告知端末機: 5-2022  
ゆめ地創館: 電話・告知端末機: 5-2772



ゆめ地創館 QRコード